

「第3回：省エネ市民会議」					
	21年4月3日	時間	13:30 ~ 16:00	場所	流山市生涯学習センター(3F)
出席者	高橋、大塚、新美、新田、春田(記) (ホワイトボードに向かって時計回り順に記載、敬称略)				
議 題					
1、新田家の省エネ					
CO2排出量を前年実績以内に抑える生活をするを目標としている。					
09年度の目標は、CO2:2トン以内、電気:2MW以内、エネルギー支払額:20万円以内。					
調査は、ムダ消費電力(待機電力を含む)の調査、冷蔵庫の消費電力調査、エコノート様式検討。					
<感想>					
・省エネの限界を極める生活をしている省エネの仙人である。					
・冬季の室温設定を10℃~13℃としているとの事ですが風邪をひかない様に留意して下さい。					
・一方、往復130kmのドライブで別荘生活を楽しんでいるのは立派です。					
2、電気のCO2排出係数につて(新美)					
PV-Net千葉の会議メモの一部を参考までに紹介する。					
・ガス協会のパンフレットで電気のCO2排出係数を「0.69」(kg/kWh)としている。					
・太陽光発電は、11:00~14:00の時間帯を売り電力としているので火力発電の補助している事となる。					
・東電の排出係数は0.36を使っているが太陽光発電を使っている家庭は0.69で計算して引き算したら。					
・理屈はそうだが、一般家庭は0.36、太陽光発電家庭は0.69とすると分かりにくい。					
・電力会社が時間帯別のCO2排出係数を出していない現状がある					
・東電の全電力平均は柏崎原発停止の影響で最新値は0.43に上がっている。係数は変動する。					
・変動するCO2排出係数でCO2の排出量をカウントするやり方は実感がわからない。					
・CO2の排出量ではなくエネルギー量(MJ:メガジュール)で測る方法もあるが、さらに分かりにくい。					
<欠席者の平手氏のコメント>					
水道光熱費の節減こそ「実利的」で「楽しみ」な小生にとっては、灯油、ガソリンを含む水道放熱費の節約金額から直接減らした(地球に貢献した)CO2kgを換算するやり方がとても分かりやすい。					
一般市民にとってCO2をどれだけ「減らしたか」が評価される仕組みづくりが必要と思う。					
3、B氏宅の省エネ診断					
本日は参加者が少なかったので十分な検討が出来なかった。指標となる値が不明との意見あり。					
<次回の予定>					
・日時=5月8日(金曜日)13:30~15:30 場所=生涯学習センター(3F)大会議室					
・内容=H氏宅の省エネ 省エネの指標(平手) 以上					